

菅原克夫先生退任号に寄せて

菅原克夫先生は、1965年4月に東洋大学文学部に助教授として赴任され、2000年4月には、東洋大学経営学部にも所属され、本年度末まで40年の長きに渡って東洋大学の発展のために貢献されました。この間、スポーツ健康科学分野の講義と実技などを主に担当されました。

菅原先生は、私と同郷（秋田県）であるとともに、高等学校の大先輩でもあることから文学部教授の時代からいつも郷里の話が中心でした。また、運動部の部長ということもあり、スポーツのあり方や選手強化についてもよくお話してくださいました。そこには、スポーツ科学への情熱が溢れていましたし、豪快で周囲の人を元気にする不思議な魅力がありました。菅原先生のご研究は、スポーツ健康科学分野の全般に及んでいます。生涯スポーツのあり方と実践について優れた業績を残されています。これからの生涯学習時代を考えると、身心ともに健康で生きがいのある人生を求める先生の生涯スポーツ研究に対する先見性には驚かされます。

また、菅原先生は学生に対して、礼儀等の厳しさとともに、スポーツを通じた社会的な役割理解や社会人のあり方をいつも強調されていました。ある学生は大学スポーツの意味と厳しさを教えていただいたと感動していました。この意味では、菅原先生の東洋大学での研究・教育は、先生のお人柄そのものであったのではないかと考えております。

これら菅原先生が東洋大学在職中に残された活動の1つ1つが、今後の経営学部の教育のあり方を考えるとき、とても貴重な示唆であると考え、多少なりとも先生の教えを生かしたいと思っております。

同郷の縁とともに、先生のご退任の時期に、学部長の職にあるということでご挨拶を申し上げることになり、先生の研究業績、大学への貢献度について十分に理解していない点多々あるかと思いますが、ご寛恕願います。先生がお元気で過ごされることを心よりお祈りしております。

2005年3月25日

経営学部長 柿崎 洋一